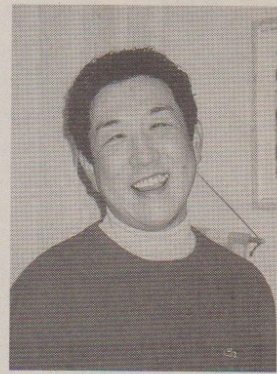


# 日本の伝統文化を未来に

## 言葉の深みと美しさを大切に



た。高校卒業後は音楽大  
学に進み、ピアノを本格  
的に学びました。

レパートリーには  
日本の歌が多いですね。  
僕は日本語で歌うこと  
を大前提にしています。  
英語の発音に自信がない  
というところもあるです  
が、日本語というのは表  
現が多彩で、四季折々の  
情緒や風土が盛り込まれ  
た歌が各地にあります。  
特に、秋の歌がたくさん  
あるのですが、そういう  
歌が心にしんみり訴えか  
けてきて、わび、さびの

## 日本人の心を歌い継ぐ

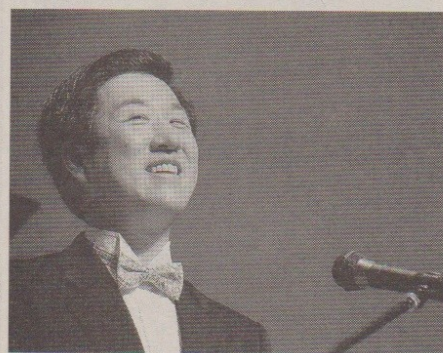
### ピアニスト・声楽家 北田康広さんに聞く

視覚障害者で音楽家の  
北田康広さんは、全国の  
学校や教育委員会などの  
求めに応じ、全国を巡回  
してピアノを弾き、バリ  
トンの歌声を披露しなが  
ら、日本語の歌の良さを  
子どもたちに伝えてい  
る。医療ミスから5歳  
で失明、10歳のとき両親  
が離婚、青春時代の様々  
な逆境を克服できたのは  
音楽の力だった。いま  
多くの人々の心を癒す日  
本の音楽と伝統文化につ  
いて、北田さんに聞い  
た。

■日本の歌は自然な発  
声で  
——どんな学校時代で  
したか。  
僕は小・中・高校を通  
して盲学校という特殊な  
環境にいましたが、学校  
では勉強しないので成績  
が悪い。家では両親が離  
婚したため、継母からい  
びられるなど、両方重  
なつてやけどに落ちた  
り、へそ曲がりになった  
りした時期が長く続い  
ていましたね。

その中で、音楽だけは  
自分のすきんだ気持ちを  
落着かせてくれる大き  
な慰めになっていまし  
た。そのころ、身近な楽  
器は何でもマスターした  
し、音の出るものは可能  
な限りの楽器にしまし  
るところもありました。中  
学3年生の頃、東京や大  
阪で音楽を学びたいと  
思ったのですが、周囲か  
ら反対されて断念しまし

た。高校卒業後は音楽大  
学に進み、ピアノを本格  
的に学びました。



子どもたちに日本の歌の良さを伝える



リースできたらいいと  
願っています。

日本には良い歌がい  
っぱいありますが、それら  
は、オペラの歌唱法で  
はなく、透明感のある自  
然な発声で歌った方が、  
……

■ピアノと歌で綴るCD  
郷は最もホビエローな  
曲だと思えますね。しか  
もいろいろな思い出を  
歌詞の言葉、語一語の中  
に感じます。作曲者の岡  
野貞一は40年間、礼拝奏  
楽をしてきたほどの熱心  
なキリスト教徒で、その

て、情操教育に欠かせな  
いものだと思います。特  
に、僕の声域のバリトン  
な歌ですか。

日本の歌には、深く心  
に染み入る名曲がたくさん  
ありますので、そうい  
うものは努めて「フナー  
トプログラム」に取り入れ  
るようにしています。例  
えば、「まつかの秋」  
「落葉松」「夏の思い出」  
「落葉松」など好んで歌っ  
ています。将来、日本の抒  
情歌集のアルバムをリ  
ンナップを工夫しているの  
な音楽

な美意識に訴えかけ、魂  
を揺る動かすようなメロ  
ディー。そして、今でも  
通用するような完成度の  
高い曲を歌い継いでいき  
たいですね。ただ、明治  
時代は洋楽の黎明期だけ  
に、音楽的には稚拙な面  
も多々あるけれども、忘  
れ去られてはいけない名  
曲もあるので、それらを  
伝えるために、自分で手  
直しさせるを得ないこと  
もありません。



日本人の心象風景を心地  
よいバリトンの音声でつ  
むいでいく

清らかな音楽性が「故  
郷」にも反映されている  
ように思います。

——子どもの音楽教育  
について。  
幼少時に聴いたメロ  
ディーは、潜在意識の中  
に刻み込まれるもので  
す。子どもの情操教育と  
して、良い音楽は大事。  
だから神経質になる部分  
もあります。例えば「冬  
の夜」という唱歌の「一戦  
で手柄を立てた」という  
部分を「思い出を語る」  
に、また「酸模の咲く  
ころ」の「尋常小学一年  
生を「小学一年生」と  
いう風に、別の歌詞の方

を用いたりしています。  
一方に問題があったとし  
ても、それを全部否定す  
るのではなく、改善し  
たものを押し進めてい  
く。自分の中でそれらを  
きちんと区別して、コン  
トロールして考えること  
が大事なのではないで  
しょうか。

■価値あるものを見分  
ける目を  
——子どもたちに残し  
たい日本の歌は。  
メロディーと歌詞がよ  
く溶け合っていて、しか  
もメロディー性のある  
曲。例えば有名な「荒城  
の月」。日本人の伝統的  
な美意識に訴えかけ、魂  
を揺る動かすようなメロ  
ディー。そして、今でも  
通用するような完成度の  
高い曲を歌い継いでいき  
たいですね。ただ、明治  
時代は洋楽の黎明期だけ  
に、音楽的には稚拙な面  
も多々あるけれども、忘  
れ去られてはいけない名  
曲もあるので、それらを  
伝えるために、自分で手  
直しさせるを得ないこと  
もありません。

——学校以外の団体の  
役割は。  
音楽は本来、純粋で美  
しいものですが、人間が  
介入すると、中には汚い  
部分も入ってくるかもし  
れません。でも、子ども  
たちに良い音楽を聞いて  
もらって、日本の伝統を  
伝えたいという願いは、  
みんなにあると思いま  
す。音楽が悪用されるこ  
となく、一人ひとりが自  
由な聴き方ができるよう  
な環境を整えていただ  
き、真に価値あるものを  
見分ける目を養うお手伝  
いをしたいと思っています。